

食品安全情報（微生物） No.12 / 2019（2019.06.12）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

<http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/index.html>

目次

[【米国食品医薬品局（US FDA）】](#)

1. 米国食品医薬品局 (US FDA) が Del Monte 社製の野菜盛り合わせ製品に関連して 2019 年春に複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Infantis) 感染アウトブレイクを調査中（初発情報）

[【米国疾病予防管理センター（US CDC）】](#)

1. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Braenderup, *Salmonella* Montevideo) 感染アウトブレイク（初発情報）
2. ペットのハリネズミとの接触に関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Typhimurium) 感染アウトブレイク（2019 年 5 月 30 日、3 月 29 日付更新情報、1 月 25 日付初発情報）

[【カナダ公衆衛生局（PHAC）】](#)

1. 公衆衛生通知：パン粉付き冷凍生鶏肉製品などの生の鶏肉に関連して発生しているサルモネラ感染アウトブレイク（2019 年 5 月 25、13 日付更新情報）

[【欧州疾病予防管理センター（ECDC）、欧州食品安全機関（EFSA）】](#)

1. 冷燻魚製品の喫食に関連して欧州の複数国にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) CC8 感染アウトブレイク

[【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】](#)

1. 食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

[【英国食品基準庁（UK FSA）】](#)

1. サンドイッチに関連しているリステリア症患者を調査中

[【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】](#)

1. ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR) が科学的意見のファイルへの電子的アクセスを初めて許可

[【ProMed mail】](#)

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報 2019（16）（15）

【各国政府機関等】

- 米国食品医薬品局 (US FDA: US Food and Drug Administration)

<http://www.fda.gov/>

米国食品医薬品局 (US FDA) が Del Monte 社製の野菜盛り合わせ製品に関連して 2019 年春に複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* *Infantis*) 感染アウトブレイクを調査中 (初発情報)

Outbreak Investigation of *Salmonella* *Infantis* Linked to Del Monte Vegetable Trays, Spring 2019

May 22, 2019

<https://www.fda.gov/food/outbreaks-foodborne-illness/outbreak-investigation-salmonella-infantis-linked-del-monte-vegetable-trays-spring-2019>

米国食品医薬品局 (US FDA) は、ウィスコンシン州保健局 (WDHS) によりサルモネラ症アウトブレイクとの関連が特定された野菜盛り合わせ製品の製造施設として、Del Monte 社の工場 (イリノイ州 Kankakee) の立ち入り検査を行っている。

2019 年 5 月 21 日、WDHS は、ウィスコンシン州およびミネソタ州のコンビニエンスストア Kwik Trip の店舗で販売された Del Monte Fresh Produce 社製の野菜盛り合わせ製品が、ウィスコンシン州の患者 3 人およびミネソタ州の患者 1 人と関連していると発表した。

ウィスコンシン州当局によると、患者は 2019 年 4 月 13~27 日に発症し、Kwik Trip 社は Del Monte 社製のすべての野菜盛り合わせ製品を自主的に店頭から撤去した。

FDA、米国疾病予防管理センター (US CDC)、ウィスコンシンおよびミネソタの各州当局は、アウトブレイクの原因菌と感染源および製品の出荷先に関する調査を続けている。

本アウトブレイクは、Del Monte 社製の野菜盛り合わせ製品に関連して 2018 年 5~6 月に発生したサイクロスポラ感染アウトブレイク (以下 Web ページ参照) とは関係がない。

<https://www.cdc.gov/parasites/cyclosporiasis/outbreaks/2018/a-062018/index.html>

WDHS は、以下の製品を喫食しないよう消費者に注意喚起している。

- ・ 6 オンス (約 170 g) または 12 オンス (約 340 g) 入り Del Monte Vegetable Tray (ブロッコリー、カリフラワー、ニンジン、およびディルディップソースの盛り合わせ)

(関連記事)

ウィスコンシン州保健局 (WDHS : Wisconsin Department of Health Services)

食品由来疾患通知 : Del Monte 社製の野菜盛り合わせ製品にサルモネラ汚染の可能性

Foodborne Illness Advisory: Del Monte Vegetable Trays Pose Potential *Salmonella* Risk

May 21, 2019

<https://www.dhs.wisconsin.gov/news/releases/052119.htm>

● 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)
<http://www.cdc.gov/>

1. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Braenderup、*Salmonella* Montevideo) 感染アウトブレイク (初発情報)

Outbreaks of *Salmonella* Infections Linked to Backyard Poultry

May 16, 2019

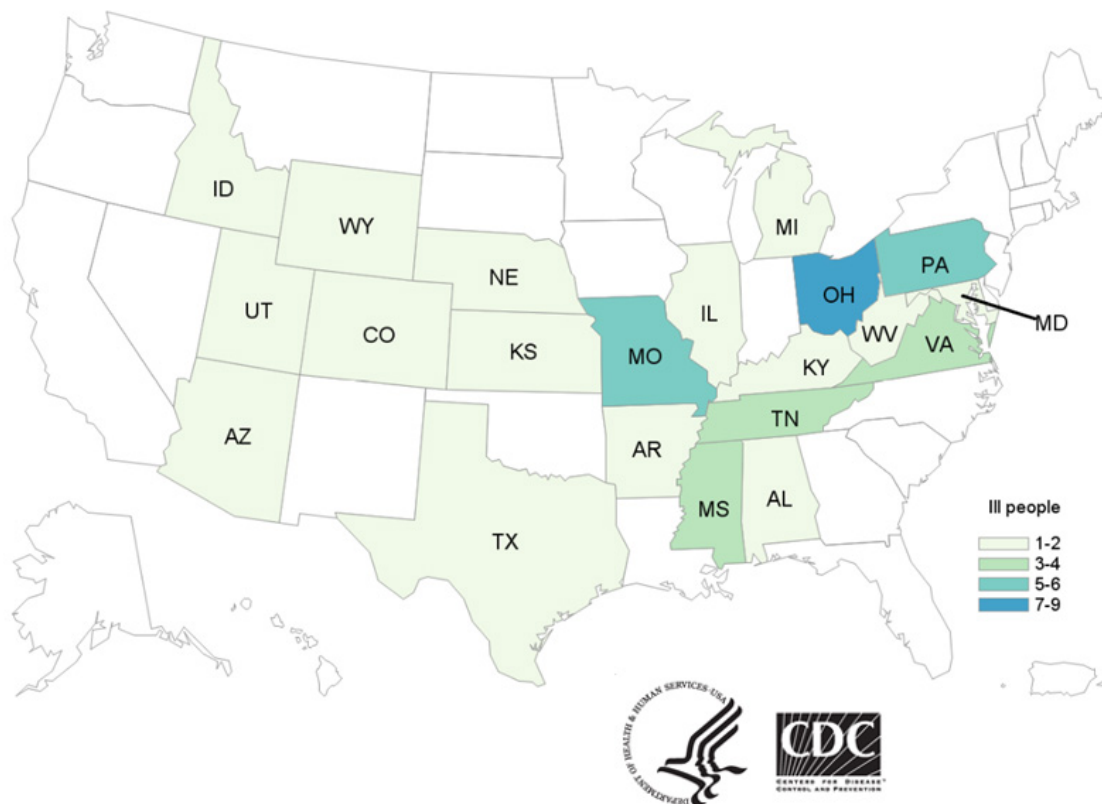
<https://www.cdc.gov/salmonella/backyardpoultry-05-19/index.html>

米国疾病予防管理センター (US CDC) および複数州の公衆衛生当局は、小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Braenderup、*S. Montevideo*) 感染アウトブレイクを調査している。

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet (食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク) のシステムを利用している。PulseNet は、公衆衛生当局の検査機関による分子生物学的サブタイピング結果を CDC が統括する全米ネットワークシステムである。患者から分離されたサルモネラ株には、PFGE (パルスフィールドゲル電気泳動) 法および WGS (全ゲノムシークエンシング) 法によって DNA フィンガープリンティングが行われる。CDC の PulseNet 部門は、アウトブレイクの可能性を特定するため、このような DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。WGS 法による DNA フィンガープリントは、PFGE 法に比べ、より詳細な情報をもたらす。WGS 解析により、本アウトブレイクの患者から分離されたサルモネラ株は遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この遺伝学的近縁関係は、本アウトブレイクの患者の感染源が共通である可能性が高いことを意味している。

2019年5月10日までにサルモネラ (*S. Braenderup*、*S. Montevideo*) アウトブレイク株感染患者が 21 州から計 52 人報告されている (図)。

図：サルモネラ (*Salmonella* Braenderup、*S. Montevideo*) アウトブレイク株感染患者数 (2019年5月10日までに報告された居住州別患者数、n=52)



患者の発症日は2019年1月12日～4月29日である。患者の年齢範囲は1歳未満～60歳、年齢中央値は21歳で、56%が女性である。情報が得られた患者27人のうち5人(19%)が入院したが、死亡者は報告されていない。

WGS解析の結果、患者由来のサルモネラ分離株4株について、アモキシシリン/クラバン酸、アンピシリン、セフォキシチン、セフトリアキソン、およびテトラサイクリンへの耐性が予測された。患者由来の別の5株については抗生物質耐性の存在が予測されなかった。現在、CDCの全米抗菌剤耐性モニタリングシステム(NARMS)検査部門において、標準的な方法を用いてアウトブレイク株の抗生物質感受性試験が実施されている。上記の耐性は、一部の患者について、治療に使用される抗生物質の選択に影響を及ぼす可能性がある。

患者に対し、発症前1週間における動物との接触に関する聞き取り調査が行われ、情報が得られた33人のうち23人(70%)が小規模飼育の家禽類との接触を報告した。患者が報告した家禽類の購入先は、農業用品店、インターネットサイト、孵化業者など様々であった。

本アウトブレイクでは、複数の孵化業者由来の小規模飼育の家禽類が感染源である可能性が高い。購入先に関係なく、家禽類はヒトの疾患の原因となり得るサルモネラを保菌し

ている可能性がある。小規模飼育の家禽類の所有者は、自身の健康を保つため家禽類取り扱い時の衛生手順を常に遵守すべきである。

本アウトブレイク調査は継続しており、CDC は更新情報を提供していく予定である。

2. ペットのハリネズミとの接触に関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Typhimurium) 感染アウトブレイク (2019年5月30日、3月29日付更新情報、1月25日付初発情報)

Outbreak of *Salmonella* Infections Linked to Pet Hedgehogs

May 30, 2019

<https://www.cdc.gov/salmonella/typhimurium-01-19/index.html>

March 29 & January 25, 2019

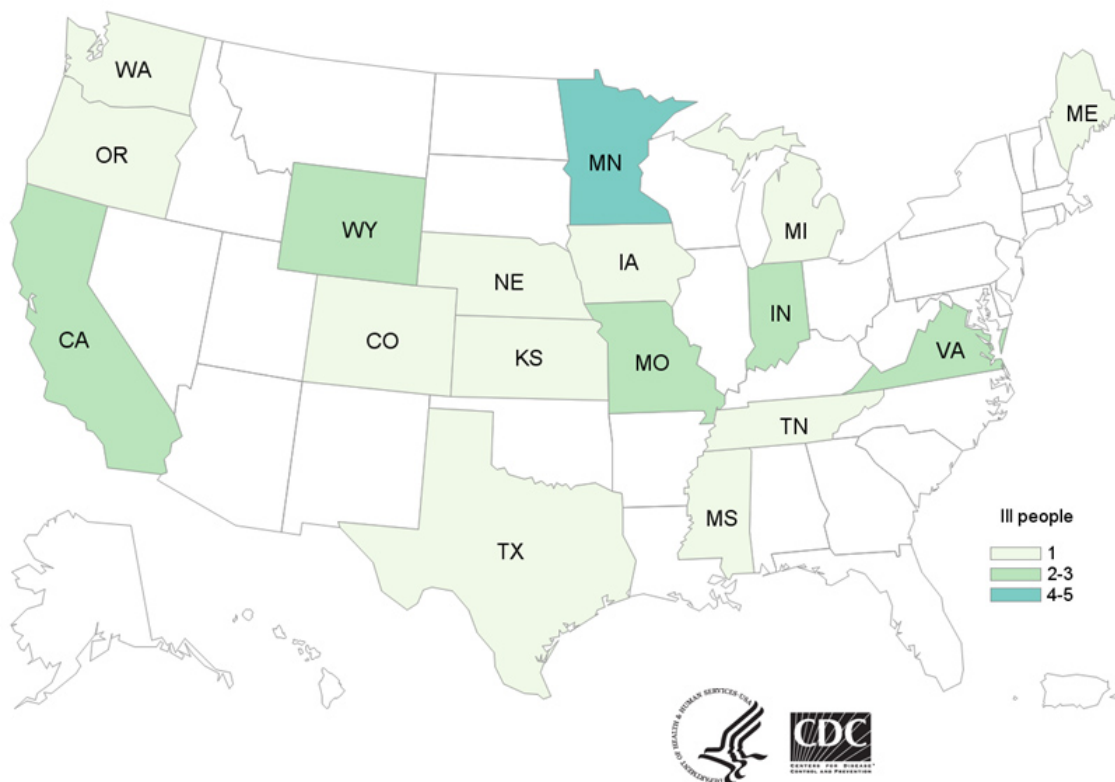
<https://www.cdc.gov/salmonella/typhimurium-01-19/updates.html>

米国疾病予防管理センター (US CDC) および複数州の公衆衛生当局は、ペットのハリネズミ (hedgehog) との接触に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Typhimurium) 感染アウトブレイクを調査している。

2019年5月30日付更新情報

2019年5月30日までに *S. Typhimurium* アウトブレイク株感染患者が17州から計27人報告されている (図)。

図：サルモネラ (*Salmonella Typhimurium*) アウトブレイク株感染患者数 (2019年5月30日までに報告された居住州別患者数、n=27)



患者の発症日は2018年10月22日～2019年4月8日である。患者の年齢範囲は2～95歳、年齢中央値は14歳で、55%が女性である。情報が得られた患者17人のうち2人(12%)が入院したが、死亡者は報告されていない。

患者に対し、発症前1週間における動物との接触に関する聞き取り調査が行われ、情報が得られた20人のうち18人(90%)がハリネズミとの接触を報告した。患者が報告したハリネズミの購入先は、ペット店、繁殖業者、インターネットサイトなど様々であった。

ミネソタ州において、患者5人の家庭由来の5匹を含む計10匹のハリネズミより採取された検体から *S. Typhimurium* アウトブレイク株が検出された。これらのハリネズミに共通する供給元は特定されていない。

2019年3月29日付更新情報

2019年3月27日までに *S. Typhimurium* アウトブレイク株感染患者が11州から計17人報告されている。

患者の発症日は2018年10月22日～2019年3月1日である。患者の年齢範囲は2～95歳、年齢中央値は13歳で、53%が女性である。情報が得られた患者14人のうち2人(14%)が入院したが、死亡者は報告されていない。

患者に対し、発症前 1 週間における動物との接触に関する聞き取り調査が行われ、調査した 15 人のうち 13 人 (87%) がハリネズミとの接触を報告した。患者が報告したハリネズミの購入先は、ペット店、繁殖業者、インターネットサイトなど様々であった。

ミネソタ州において、患者 2 人の家庭由来の 3 匹を含む計 8 匹のハリネズミより採取された検体から *S. Typhimurium* アウトブレイク株が検出された。これらのハリネズミに共通する供給元は特定されていない。

2019 年 1 月 25 日付初発情報

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet (食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク) のシステムを利用している。PulseNet は、公衆衛生当局の検査機関による分子生物学的サブタイピング結果を CDC が統括する全米ネットワークシステムである。患者から分離されたサルモネラ株には、PFGE (パルスフィールドゲル電気泳動) 法および WGS (全ゲノムシーケンシング) 法によって DNA フィンガープリンティングが行われる。CDC の PulseNet 部門は、アウトブレイクの可能性を特定するため、このような DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。WGS 法による DNA フィンガープリントは、PFGE 法に比べ、より詳細な情報をもたらす。WGS 解析により、本アウトブレイクの患者から分離されたサルモネラ株は遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この遺伝学的近縁関係は、本アウトブレイクの患者の感染源が共通である可能性が高いことを意味している。

2019 年 1 月 23 日までに *S. Typhimurium* アウトブレイク株感染患者が 8 州から計 11 人報告されている。

患者の発症日は 2018 年 10 月 22 日～12 月 25 日である。患者の年齢範囲は 2～28 歳、年齢中央値は 12 歳で、45%が女性である。患者 11 人のうち 1 人 (9%) が入院したが、死亡者は報告されていない。

患者に対し、発症前 1 週間における動物との接触に関する聞き取り調査が行われ、調査した 11 人のうち 10 人 (91%) がハリネズミとの接触を報告した。患者が報告したハリネズミの購入先は、ペット店、繁殖業者、インターネットサイトなど様々であった。

ミネソタ州の患者 2 人の家庭由来のハリネズミ 3 匹より採取された検体から *S. Typhimurium* アウトブレイク株が検出された。これらのハリネズミに共通する供給元は特定されていない。購入先に関係なく、ハリネズミはヒトの疾患の原因となり得るサルモネラを保菌している可能性がある。ペットとしてのハリネズミの所有者は、自身の健康を保つためペット取り扱い時の衛生手順を常に遵守すべきである。

● カナダ公衆衛生局 (PHAC: Public Health Agency of Canada)

<http://www.phac-aspc.gc.ca/>

公衆衛生通知：パン粉付き冷凍生鶏肉製品などの生の鶏肉に関連して発生しているサルモネラ感染アウトブレイク (2019年5月25、13日付更新情報)

Public Health Notice - Outbreaks of *Salmonella* infections linked to raw chicken, including frozen raw breaded chicken products

May 25 & 13, 2019 – Update

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notice/2018/outbreaks-salmonella-infections-linked-raw-chicken-including-frozen-raw-breaded-chicken-product-s.html>

カナダ公衆衛生局 (PHAC) は、複数の州・準州の公衆衛生当局、カナダ食品検査庁 (CFIA) およびカナダ保健省 (Health Canada) と協力し、パン粉付き冷凍生鶏肉製品などの生の鶏肉に関連してカナダ国内で発生しているサルモネラ感染アウトブレイクを調査している。

2019年5月25日付更新情報

○これまでの調査の概要

2017年5月、カナダ政府機関の研究者は、アウトブレイクの探知および対応のために全ゲノムシーケンシング (WGS) 技術の使用を開始した。それ以降、連邦・州・準州の公衆衛生・食品安全当局は、パン粉付き冷凍生鶏肉製品などの生の鶏肉に関連してカナダ国内で発生したアウトブレイク 18件について調査を行ってきた。これらのアウトブレイク調査により計 14種類の食品のアウトブレイクとの関連が特定され、このうちの 13種類については CFIA が食品回収警報を発している。残りの 1種類は小売業者により市場から撤去された。

パン粉付き冷凍生鶏肉製品などの生の鶏肉に関連してカナダで発生した 18件のサルモネラ感染アウトブレイクで、2019年5月25日までに検査機関確定患者 584人が報告されている。患者数の州・準州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア (44人)、アルバータ (85)、サスカチュワン (18)、マニトバ (29)、オンタリオ (215)、ケベック (119)、ニューブランズウィック (31)、ノバスコシア (19)、プリンス・エドワード・アイランド (6)、ニューファンドランド・ラブラドール (12)、ノースウエスト (2)、ユーコン (1) およびヌナブト (2) である。このうち 97人が入院した。患者 3人が死亡したが、このうち 2人はサルモネラ感染が死亡の原因ではなく、残りの 1人はサルモネラ感染が死因に寄与したかどうかは明らかではない。患者はすべての年齢層・性別のカナダ人に分布している。

○調査中のアウトブレイク

2019年5月25日時点で、パン粉付き冷凍生鶏肉製品などの生の鶏肉に関連したサルモネラ感染アウトブレイクで PHAC が統括して調査を行っている事例が1件ある。

- ・ 新規アウトブレイク初発情報 (*Salmonella* Enteritidis)

2019年5月25日現在、本アウトブレイクに関連して7州から患者計11人が報告されており、患者数の州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア(2人)、アルバータ(1)、オンタリオ(2)、ケベック(3)、ニューブランズウィック(1)、ノバスコシア(1)、プリンス・エドワード・アイランド(1)である。患者の発症日は2018年9月～2019年4月である。患者1人が入院したが、死亡者は報告されていない。感染源としてパン粉付き冷凍生鶏肉製品が特定され、2019年5月24日に以下の製品の回収が開始された。

Compliments ブランドのチキンストリップ(907g入り)「Compliments Chicken Strips (907g)」

賞味期限：2019年11月24日

施設番号：EST 374

UPCコード：0 55742 33687 0

販売地域：全国

対象製品は2019年5月1日以前に販売されたが、消費者の家庭の冷凍庫にまだ残っている可能性がある。

2019年5月13日付更新情報

○これまでの調査の概要

2017年5月以降、パン粉付き冷凍生鶏肉製品などの生の鶏肉に関連してカナダ国内で計17件のサルモネラ感染アウトブレイクが発生している。

2019年5月13日までに検査機関確定患者573人が報告されており、患者数の州・準州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア(42人)、アルバータ(84)、サスカチュワン(18)、マニトバ(29)、オンタリオ(213)、ケベック(116)、ニューブランズウィック(30)、ノバスコシア(18)、プリンス・エドワード・アイランド(6)、ニューファンドランド・ラブラドール(12)、ノースウエスト(2)、ユーコン(1)およびヌナブト(2)である。このうち96人が入院した。患者3人が死亡したが、このうち2人はサルモネラ感染が死亡の原因ではなく、残りの1人はサルモネラ感染が死因に寄与したかどうかは明らかではない。患者はすべての年齢層・性別のカナダ人に分布している。

○調査中のアウトブレイク

2019年5月13日時点で、パン粉付き冷凍生鶏肉製品などの生の鶏肉に関連したサルモネラ感染アウトブレイクで PHAC が統括して調査を行っている事例はない。

(食品安全情報(微生物) No.7/2019 (2019.04.03)、No.3/2019 (2019.02.06)、No.24/2018 (2018.11.21)、No.21/2018 (2018.10.10)、No.16/2018 (2018.08.01) PHAC 記事参照)

-
- 欧州疾病予防管理センター (ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control)

<http://www.ecdc.europa.eu/>

欧州食品安全機関 (EFSA: European Food Safety Authority)

<http://www.efsa.europa.eu>

冷燻魚製品の喫食に関連して欧州の複数国にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) CC8 感染アウトブレイク

Multi-country outbreak of *Listeria monocytogenes* clonal complex 8 infections linked to consumption of cold-smoked fish products

4 Jun 2019

ECDC サイト

https://ecdc.europa.eu/sites/portal/files/documents/20190423_Joint_ECDC-EFSA_ROA_UI-452_Lm-ST1247.pdf (報告書 PDF)

<https://ecdc.europa.eu/en/publications-data/multi-country-outbreak-listeria-monocytogenes-fish-products>

EFSA サイト

http://www.efsa.europa.eu/sites/default/files/scientific_output/EN-1665-FINAL.pdf (報告書 PDF)

<http://www.efsa.europa.eu/en/supporting/pub/en-1665>

欧州連合 (EU) 加盟 5 カ国にわたりリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクが長期間発生しており、全ゲノムシーケンシング (WGS) 法によって、*L. monocytogenes* シークエンスタイプ (ST) 1247・クローン集団 (CC : clonal complex) 8 に感染した患者計 22 人が特定されている。患者数の国別の内訳はデンマーク (9 人)、エストニア (6)、フィンランド (2)、フランス (1) およびスウェーデン (4) である。*L. monocytogenes* 感染が原因で、もしくは感染中に他の疾患が原因で患者 5 人が死亡した。初発患者は 2014 年 7 月にエストニアで、直近の患者は 2019 年 2 月にデンマークで発症した。食品喫食歴の情報が得られた患者 12 人のうち 8 人が冷燻魚製品を喫食していた。

WGS 解析の結果が患者由来アウトブレイク株と一致する *L. monocytogenes* 株が、4 カ

国（フランス、デンマーク、イタリア、スウェーデン）で卸売および小売段階のサーモン（冷燻またはマリネ）計 13 バッチおよび冷燻トラウト計 6 バッチから検出された。汚染されたバッチの追跡調査により、これらの製品に共通する単一の製造業者としてエストニアの加工会社 A 社が特定された。原材料の生魚はノルウェーおよびフィンランドの会社から供給されていた。A 社工場での環境調査および食品検査により、加工ライン由来の 2 検体および最終製品 4 バッチからアウトブレイク株と一致する *L. monocytogenes* が検出された。

アウトブレイク株と一致する *L. monocytogenes* が魚加工製品に数年間にわたり存在していたことは、A 社の施設に当該 *L. monocytogenes* が持続的に存在していることを示唆している。A 社の工場内で（交差）汚染が発生した場所を特定するにはさらに調査が必要である。食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF）に通知が発せられた後、エストニア、デンマーク、フランスおよびイタリアで管理対策が講じられたが、感染源の特定および管理が実施されるまでは、本件に関連する侵襲性リステリア症患者が今後も発生する可能性がある。

一般に、妊婦、高齢者および免疫機能が低下している人は、重篤な臨床経過や死亡の可能性を伴う侵襲性リステリア症の罹患リスクが高い。

（関連記事）

EFSA

冷燻魚製品に関連して複数国にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*)
感染アウトブレイク

Multi-country outbreak of *Listeria monocytogenes* linked to cold smoked fish

4 June 2019

<https://www.efsa.europa.eu/en/press/news/190604>

● 欧州委員会健康・食品安全総局 (EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety)

http://ec.europa.eu/dgs/health_food-safety/index_en.htm

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

http://ec.europa.eu/food/safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/portal/>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/portal/?event=searchResultList>

2019年5月25日～6月7日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

ドイツ産冷蔵 ready-to-eat (そのまま喫食可能な) 鶏部分肉 (ベルギーで包装) のリステリア (*L. monocytogenes*, 25g 検体陽性)、ベルギー産冷凍生鶏肉 (オランダ経由) のカンピロバクター (*C. jejuni*, 10g 検体陽性)、英国産ペットフードのサルモネラ (*S. Typhimurium*, 25g 検体陽性)、オランダ産鶏ドラムスティック肉のサルモネラ (25g 検体陽性)、イタリア産冷凍ツナサンドイッチのリステリア (*L. monocytogenes*, ~11,000 CFU/g)、インド産チリパウダーのサルモネラと *S. Newport* (ともに 25g 検体陽性)、オランダ産ハーブミックス (肉料理用) のサルモネラ (*S. Agona*, 25g 検体陽性)、ブルガリア産ヒマワリ種子のサルモネラ (25g 検体陽性)、エクアドル産冷凍生エビ (スペイン経由) の腸炎ビブリオ (*V. parahaemolyticus*, ToxR+, Tdh+, 25g 検体陽性) など。

注意喚起情報 (Information for Attention)

ポーランド産冷蔵鶏脚肉のサルモネラ (*S. Newport*, 25g 検体陽性)、ポーランド産冷蔵ブロイラー四分体肉のサルモネラ (*S. Kentucky*, 25g 検体 1/5 陽性)、ポーランド産冷蔵鶏肉のサルモネラ (*S. Münster*, 25g 検体 1/5 陽性)、イタリア産活二枚貝 (*Chamelea gallina*) の大腸菌 (330・230・130・700・490 MPN/100g)、ポーランド産冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Infantis*, 25g 検体陽性)、リトアニア産菜種搾油粕のサルモネラ (*S. Agona*, 25g 検体陽性)、ポーランド産冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Newport*, 25g 検体陽性)、ポーランド産冷蔵鶏脚肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*, 25g 検体陽性)、ポーランド産冷蔵生鮮七面鳥もも肉 (骨・皮なし) のサルモネラ (*S. Kentucky*, 25g 検体陽性)、オランダ産冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*, 25g 検体陽性) など。

フォローアップ喚起情報 (Information for follow-up)

ハンガリー産冷凍鴨ササミ肉のサルモネラ (25g 検体陽性)、クロアチア産有機ヒマワリ搾油粕のサルモネラ (*S. Senftenberg*, 25g 検体陽性)、イタリア産ハーブ浸出液 (ドイツ産原材料使用、スペインで製造) の大腸菌、デンマーク産チョコレートソース (ボトル入り) のカビ、スペイン産加工家禽タンパク質のサルモネラ (25g 検体陽性)、デンマーク産有機大豆搾油粕のサルモネラ (*S. Mbandaka*, 25g 検体 2/8 陽性) など。

通関拒否通知 (Border Rejection)

スーダン産白ゴマ種子のサルモネラ (25g 検体 3/5 陽性)、スーダン産ゴマ種子のサルモネラ (25g 検体陽性)、ブラジル産冷凍塩漬鶏むね肉 (半身) のサルモネラ (25g 検体陽性)、米国産魚粉のサルモネラ (*S. Montevideo*、*S. Münster*、ともに 25g 検体陽性)、米国産魚粉のサルモネラ (*S. Senftenberg*、250g 検体陽性)、マレーシア産 betel leaf (キンマの葉) の大腸菌 (25g 検体陽性)、ブラジル産冷凍鶏むね肉半身 (オランダ経由) のサルモネラ (25g 検体陽性)、ウガンダ産有機ゴマ種子のサルモネラ (25g 検体 1/5 陽性)、マレーシア産 betel leaf (キンマの葉) の大腸菌 (8.2×10^3 CFU/g)、マレーシア産 betel leaf (キンマの葉) の大腸菌 (9×10^3 CFU/g)、ナイジェリア産白ゴマ種子のサルモネラ (25g 検体陽性)、ブラジル産冷凍牛肉の志賀毒素産生性大腸菌 (25g 検体陽性)、マレーシア産 betel leaf (キンマの葉) のサルモネラ (25g 検体陽性) と大腸菌 (7.8×10^3 CFU/g)、ナイジェリア産ゴマ種子のサルモネラ (25g 検体陽性)、ブラジル産黒コショウのサルモネラ (*S. Rubislaw*、25g 検体陽性)、モーリタニア産魚粉のサルモネラ (*S. Derby*、*S. Kalina*、*S. Lexington*、いずれも 25g 検体陽性) など。

● 英国食品基準庁 (UK FSA: Food Standards Agency, UK)

<http://www.food.gov.uk/>

サンドイッチに関連しているリステリア症患者を調査中

Listeria cases being investigated

An investigation is underway into cases of *Listeria* linked to sandwiches.

7 June 2019

<https://www.food.gov.uk/news-alerts/news/listeria-cases-being-investigated>

イングランド公衆衛生局 (PHE)、英国食品基準庁 (UK FSA)、ウェールズ公衆衛生局 (PHW)、スコットランド食品基準庁 (FSS)、スコットランド健康保護庁 (HPS) および複数の地方自治体当局は、包装済みサンドイッチに関連して発生しているリステリア症の感染源について調査している。

患者発生に関連しているサンドイッチおよびサラダは回収され、これら製品の製造業者 Good Food Chain 社は、調査が行われている間、自主的に製造を停止している。Good Food Chain 社は North Country Cooked Meats 社の食肉製品を使用しており、North Country Cooked Meats 社の製品の検査結果はアウトブレイク株陽性であった。North Country Cooked Meats 社、および同社の製品を販売する North Country Quality Foods 社も自主的に業務を停止している。

アウトブレイク患者はイングランドの病院に入院していた重症患者 6 人で、このうち 3 人が死亡した。現在までのところ、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドでは患者は発生していない。また、患者は医療施設でのみ特定されており、一般市民へのリスクは低い。

健康な人はリステリアに感染しても気付かない場合が多く、症状が現れても非常に軽い。しかし、一部の人、特に基礎疾患のある人や妊婦などでは重篤化することがある。一般消費者への健康リスクは低いが、症状を呈した場合には受診すべきである。

FSS および HPS も調査に協力しているが、現時点でスコットランドおよびウェールズで患者は発生していない。

当該サンドイッチおよびサラダは患者発生との関連が確認された際に病院から撤去された。調査が継続している間は、これらの製品は製造されない。

● ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR: Bundesinstitut für Risikobewertung)
<http://www.bfr.bund.de/>

ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR) が科学的意見のファイルへの電子的アクセスを初めて許可

BfR grants electronic access to files for first time

06.05.2019

https://www.bfr.bund.de/en/press_information/2019/14/bfr_grants_electronic_access_to_files_for_first_time-240644.html

ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR) は、情報公開法 (IFG : Freedom of Information Act) にもとづき多くの照会を受けており、現在、約 39,000 件の照会への対応が進んでいる。これらの照会は、グリホサート (除草剤の有効成分) に関する国際がん研究機関 (IARC) のモノグラフについて BfR が作成した科学的意見を対象としており、照会者はその要約の公表を要求している。今回、BfR はこの科学的意見について、自身の Web サイト上で照会者全員に対して個別に公表することを決定した (一般公開はされない)。

Andreas Hensel 所長は、この決定によって BfR は情報公開法を遵守するという義務を果たしつつ、他方、科学的成果の著作権を保持できると述べている。BfR は、公的機関による決定の透明性に関する法的要件を遵守するため、および、照会に対して適切な期間内に対応するために今回の新しい措置を講じている。

BfR は、その所掌の範囲内での科学的かつ活発な研究活動により業績が際立っている。このような背景から、BfR の科学的成果を最初に公表する権利を誰が持つかを定めること

は BfR にとって極めて重要である。BfR は、当該科学的意見へのインターネットによるアクセスを許可することにより、あらゆる関係者が透明性のある簡便な方法でその内容を理解し考察する機会を提供する予定である。

● ProMED-mail

<http://www.promedmail.org/pls/askus/f?p=2400:1000>

コレラ、下痢、赤痢最新情報 2019 (16) (15)

Cholera, diarrhea & dysentery update 2019 (16) (15)

31 & 30 May 2019

コレラ (AWD : 急性水様性下痢)

国名	報告日	発生場所	期間	患者数	死亡者数
ソマリア	5/31	Banadir	5/13~19	(疑い) 55	0
		Banadir	2017年12月のアウトブレイク~	(死亡者含む疑い) 7,290	46
		Banadir	2019年1月~	153検体の培養検査で 11人確定	
エチオピア	5/23	アムハラ州	直近数日間	(AWD) 67	4 累計 12
タンザニア	5/29	ダルエスサラーム		32	1
イエメン	5/29		5/13~19	(疑い) 16,827	18
			2018/1/1 ~2019/4/28	(疑い) 704,986	1,114
			4/1~7	(疑い) 29,500 以上	
			2019年1月~	6,144検体中 培養検査で3,264検体陽性	

イエメンのコレラ

・2019年の疑い患者数が最も多い6県

Amanat Al Asimah (55,065)、Sana'a (41,094)、Al Hudaydah (34,814)、Ibb (31,725)、Dhamar (29,889)、Amran (27,727)

・2019年1月以降に培養検査で陽性となった検体数が最も多い3県

Amanat Al Asimah (995)、Taizz (741)、Sana'a (367)

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室